**目 次**

|  |
| --- |
| **中 國** |

黑龍江省の重点の投資事業に関する紹介(黒龍江省) 53

第4回河南省の國際投資貿易商談會の開催について(河南省) 58

11.5経済開発計画及び東北アジア協力の見込み(山東省) 61

|  |
| --- |
| **韓 國** |

2006慶尚南道展示会開催の計画紹介(慶尙南道) 70

|  |
| --- |
| **ロシア** |

ロシアと中国の間の特別經濟區域創設の提議(アム-ル州) 71

イルクツクと北東アジア地域の共同發展戰略の関係(イルクツク州) 74

**黑龍江省の重点の投資事業に関する紹介**

黒龍江省人民政府外事弁公室

趙爾力　副主任

尊敬するチェ・ヨンゾ経済通商室長、そしてご来賓の皆様。

こんにちは。

私は今回の2005年、北東アジアビジネス促進会議に黒龍江省の代表団として参加させていただき、大変、光栄に思っております。

先ず、黒龍江省人民政府外事弁公室の代表として今回の会議の開催を心からお祝い申し上げ、チェ・ヨンゾ経済通商室長をはじめ、コ―ディネ―タ―団体である慶尚北道にも心より感謝申し上げます。

北東アジア自治団体連合の経済通商分科委員会が創設されて以来、互恵平等と共同繁栄の原則に基づき、北東アジア地域の自治団体の経済貿易協力のために多くの有益な活動をしております。

黒龍江省は北東アジア地域の国家との経済貿易協力を重点的に事業化し続け、ロシア、日本、韓国が黒龍江省の主要貿易パートナー になり、交易額も黒龍江省の対外貿易の輸出入でかなりの比重を占めています。

現在、中国政府は「東北旧工業基地振興戦略」という政策を実施しており、これは黒龍江省の発展に千載一遇のチャンスを与えてくれました。黒龍江省はこのような機会を十分に活用し、機械装備、石油化学、エネルギー工業、食品、医療薬品、森林工業など六大基地を建設することに全力を尽くしております。

私は今回の会議を通じ、海外投資家に黒龍江省の重点の投資事業について紹介させていただきます。

**一つ、株式投資、持ち分保有、売買などの方式を通じた黒龍江省の国有企業財産権制度の改革の参加**

黒龍江省は今年に入り、56社の大型及び中型工業企業と50社の非工業企業など全部106社の国有企業の改革を進め、産業分野は装備、医療薬品、冶金、石油化学、エネルギー、林産物加工、建築、交通、観光、金融、対外貿易に至っています。黒龍江省は国外投資家の国有企業の株式投資、持ち分保有及び売買へのご参加をお待ちしております。

**二つ、黒龍江省現代農業経営分野の投資を通じた生産、加工、販売などの多くの範囲で深度ある開発の推進**

黒龍江省の平均耕地面積と土地予備面積は全国で最も広く、年平均食糧生産量は300億キロ以上に達し、商品食糧生産量は180億キロ以上で乳牛141万頭を保有しています。そして牛乳生産量は375万トンに達し、全国で最も重要な食糧主産地で商品食糧基地であると同時に牧畜業の大省であります。

黒龍江省では多くの国内外企業人が大規模の現代式の農場を建設し、食糧及びその他農産物、林産品、畜産品の生産に投資することができます。農産品の特殊加工品を元にした食品、化学と医療薬品工業の企業を創業することができ、また農業生産資料の経営と 有料種の培養、農業生産技術の商品化の普及及び農産品の経営と販売などの産業に従事することができます。

**三つ、 特色ある観光資源を元にした観光業協力事業の強化**

黒龍江省は森、大草原、湿地、湖、大雪原、国境を境界とする大きな川で国内外で非常に有名であります。冬はハルビンの「氷雪大世界」という祭りで有名で、また黒龍江省にはアジア最大のスキー場ヤブリーがあります。夏は世界三大高山の堰塞湖の一つである鏡泊湖と世界三大冷泉の一つである五大連池、そして丹頂鶴の故郷である扎龍保護区、中国ーロシアの両国の国境に位置している興凱湖、避暑とレジャーの本拠地である伊春山林公園があります。

現在、黒龍江省は毎年、国内外の観光客が10％以上増加する趨勢になっており、2004年には4000人の越える観光客が訪れました。

黒龍江省は国外の関連企業と機関でより多くの観光と旅行業関係の代表団を組織し、現地を訪れ、北国の景色をたっぷり味わってほしいと思っております。また旅行社の支店及びその他、関連の仲介機構の設置、黒龍江省と各国間の相互観光路線の開発、観光地と宿泊施設など観光インフラ構築への投資を楽しみにしております。

**四つ、各事業支援政策の積極的な活用を通じた資源型都市の経済への転換**

資源型の都市の持続的な発展の能力開発及び旧工業基地振興政策の推進を加速化するため、黒龍江省は資源型都市の経済転換の総合的な計画案をまとめました。

その中でも大慶は今後、潤滑油、天然ガス、化学工業及び合成樹脂、合成繊維、合成ゴムの特殊加工など化学工業分野を重点産業に育成し、四大石炭都市の産業ネットワークを連携・構築し、火力発展、石炭関連の化学工業、石炭の石油化、石炭のガス転換及び総合開発の推進を加速化させています。

同時に伊春、大興安嶺山林区域は今後、原木を素材にした家具、合板、パルプ、木材工芸品などの産業を積極的に育成する予定であります。

中国政府は黒龍江省の資源型都市の経済への転換を大変、重視し、大慶と伊春を資源型都市という国家のモデル地域に指定しました。黒龍江省は海外企業人がこのような有利な時期をよく活用し、黒龍江省の石炭開発の投資及び火力発電所、石炭、石油化学工業と木材加工企業を設立することを望んでいます。

**五つ、現代物流業の発展及び仲介サービスなどの分野での協力展開**

黒龍江省は中国の重要商品食糧、エネルギー、原資材、装備製造と中化学工業の基地であり、貨物の運送量も多いし、また北東アジア地域の中心地域であります。

黒龍江省は国外物流企業が黒龍江省でも支店開設及び物流の運送、保管、配送の現代式の物流センターの建設を歓迎しております。

現在、黒龍江省政府は信頼できる黒龍江省の建設に全力を尽くしています。また国外の弁護士、審査、会計、顧問、担保、研究開発と企画など仲介組織と金融機構の市場進出を心からお待ちしています。

ご来賓の皆様、黒龍江省は中国政府の提出した科学発展観により、ハルビン、大慶、齊齊哈爾（チチハル）地域内に約900平方キロメートル未開発の土地に工業を集中させ、今後、ハルビンー大慶ーチチハルの工業ベルトを形成する予定であります。

このような計画により、2010年までアルカリ土壌地域など未開発用地251平方キロメートルを開発し、国外投資家が黒龍江省旧工業基地振興に積極的に参加できるように民営経済を発展させます。そして産業協力の体系を構築し、産業を集中的に育成・発展させ、優秀な投資の舞台を提供する計画であります。

今年から2年間94平方キロメートルのモデル区域を建設し、668億元(RMB)を投資する予定で、その中、インフラ施設の建設に198億元(RMB)を投資する予定であります。2015年まで601平方キロメートルに達する用地を開発し、装備製造、石油化学、食品、医療薬品、ハイテク新技術と現代物流など特集産業群を重点的に育成する予定であります。

2020年まで921平方キロメートルに達する用地を開発し、集中産業群のインセンティブを用意して生産力を合理的に配置し、科学技術で支え、環境にやさしい工業ベルトを建設する予定であります。

ハルビンー大慶ーチチハルの工業ベルト建設の推進を加速化させ、國家の実施している旧工業基地振興戦略政策の成果が十分、発揮できるように黒龍江省政府は現在、一つの統一された政策を用意しています。

みなさん、黒龍江省は中国政府の東北地域の旧工業基地振興戦略を実施によって世界の注目を浴びています。

北東アジアに位置した国家の生活水準はそれぞれ違いますが、我々の協力に共同繁栄という希望は私たちが共に進めるようにしてくれました。

今や黒龍江省の発展が速く、投資協力とビジネス機会も無限なため、黒龍江省は投資家一人一人に友情と発展としてお礼できるよう、努力致します。

みなさん、ありがとうございました。

**第4回河南省の國際投資貿易商談會の開催について**

河南省人民政府外事弁公室

章光敏　副処長

ご来賓の皆様。

こんにちは。

先ず、河南省の代表として今回の会議の開催を心からお祝い申し上げます。また今回の会議の開催のため、多くの準備をしてくださった慶尚北道に心より感謝申し上げます。

21世紀は開放と交流の時代であり、経済グローバル時代であると同時に文化交流の時代であります。このような時代に河南省の人々と東北アジア各国の人々が相互間の友誼を増進させ、相互間の交流と協力を強化し、交流を通じた相互の理解と協力が実現するように望んでやみません。毎年、東北アジアのビジネス促進会議は東北アジア地域の自治団体と企業の人事たちにすばらしい交流協力の場を提供しております。

最近、中国経済の発展と改革の開放の深化により、中国に来て発展を図る外国企業も続々と増えています。河南は中国の中部に位置しているため、中原と呼ばれています。世界の多くの人々は中国の少林寺と少林武術のことはよく知っていますが、河南省を知っている人はめったに見掛けません。河南省は中国の縮小版であります。

中国は世界第一の人口大国であり、9700万人の人口を擁した河南省は中国第一の農業生産地域であります。現在、中国のGNPは世界第6位で一人当りの平均GNPは第73位であり、河南省のGNPは全国第5位で一人当りの平均GNPは全国の第18位を占めています。中国は世界の文明の発祥地であり、河南省は中華民族5千年の文明の重要発祥地で中国８大古都の中、４大古都を有しています。

ここにご参加の皆様、本当の中国を知りたいなら先ず、河南省を知るべきであります。

最近、中国経済は非常に速いスピードで発展しており、河南省も非常に速いスピードで発展しております。河南省は全体的に発展のスピードが全国の平均発展速度よりやや高めです。

21世紀を向かえ、河南省は全面的な小康社会の建設を推進し、また「中原の決起」という巨視的な目標を実現いたしました。

2004年、河南省のGNPは8,800億元(RMB)に達し、13.7%の経済成長率を記録し、一人当りの平均GNPは1,000ドルを突破いたしました。また今年は10,000億元(RMB)を突破する見込みであり、社会と経済の発展は速くて安定的で健全な発展の趨勢になっています。

河南省の人々は真面目で素朴で河南省を訪れる人に大変、やさしいと言われています。河南省は世界に向け、改革と開放の扉を開けました。「中原を得る者、天下を得る」という中国の諺があります。最近、国内外の多くの企業人が中原に集まってきています。また既に世界500大企業のうち28社が進出し、また多くの企業が河南省に進出しようと河南省と相談しています。

前世界の人々に河南省をさらによく知ってもらうため、河南省は世界に向けて発展しています。今後、河南省人民政府と中国国際貿易促進委員会は2006年4月12日から14日まで河南省鄭州市で「第4回中国河南省の国際貿易相談会」を共に開催する予定であります。河南省は相談会で「第11次５ヶ年発展計画と河南省基幹産業の発展計画」に基づき、最新投資協力事業を発表する予定でおります。

今後、この事業は外資利用の範囲を拡大する予定でおります。また国有事業を改造し、経営権を譲渡し、ハイテク新技術産業の発展、現代製造業、農産品の加工業、石油加工、石炭化学工業、アルミ産業、 紡織業、基礎産業の発展などを述べています。

また今回の相談会を通じ、高速道路、橋梁、電力、都市暖房、水道、汚水及びゴミ処理など基礎の施設の建設事業も今後、紹介する予定となっています。サービス業の対外開放に一層力を注ぎ、より多くの商業、貿易、物流、観光、金融、保険、情報、諮問、教育と衛生などの分野の事業も対外的に公布いたします。

相談会の主な内容は「六会」と「一展」としてすなわち、六つの専門分野の貿易投資相談会、そして投資と貿易の展示と「二大中部決起ゼミナール」が共に開催されます。

この以外にも洛陽市で「牡丹の花祭り」が 一年に一回開かれ、塔河では「中原食品祭り」が開かれます。このような展示コンベンションと祭りの共同開催を通じ、幅広い対外交流を展開しております。

今後、約2000人の海外の企業人が河南省を訪れ、河南省内の企業人と交流及び相談を進めると予想しております。

河南省は今回の会議で東北アジアの自治団体連合の参加の会員団体を河南省に招待致します。

河南省を訪問し、観光業と投資の機会を模索され、共に発展できるよう願っております。

ありがとうございました。

**11.5経済開発計画及び東北アジア協力の見込み**

山東省人民政府外事弁公室

张继刚副主任

尊敬する来賓の皆様、こんにちは。

先ず、東北アジアのビジネス促進会議の成功的な開催を心からお祝い申し上げます。東北アジア自治団体連合の経済通商分科委員会の関連人事のみなさんと慶尚北道の幹部及び関連の職員の方々、今回、東北アジアのビジネス促進会議の準備の過程での多くのご苦労に心より感謝申し上げます。

　ひいては山東省と東北アジア地域の各国の自治団体の経済交流及び協力を強化しようと今度の機会に山東省の「11.5経済開発計画及び東北アジア協力の見込み」について簡単に紹介致します。

**「10・5計画（2001→2005）」山東経済の発展趨勢**

**① 山東省経済の速い発展、著しい経済力の増加**

山東省のGDPは2002年に一万億元RMB）を、2004年には1.5万億元（RMB）をそれぞれ達成致しました。2005年には1.8万億元（RMB）に達する見込みであり、金額とおりでは2000年の1.84倍になる見込みです。

5年間、平均成長率は13％ぐらいに達し、財政収入は千億元（RMB）を突破する見込みでおります。これは2000年の2.19倍となり、5年間、平均17％が成長致しました。

**<2001～2005年山東省 GDP>**

**② 構造調整による新たな進展と産業経済力の増加**

山東省は対外経済貿易及びハイテク新技術、民間経済で多くの成果を挙げました。2005年、実際に使われた外資は100億ドルで2000年の２.6倍でおり、輸出総額は470億ドルに達し、2000年の3倍になっております。



**<2001年～2005年 山東省外資実際利用額>**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　 　　　　　　　　　ハイテク新技術産業は工業の総生産額の25%に達し、年平均2％ずつ上がっており、非共有制経済で占める比重は2000年の31.6％から48％に増加致しました。



**<2001年～2005年山東省輸出>**

**③ 地域経済の協力発展、都市と農村住民の収入の引き上げ**

2005年、山東省住民一人当りの平均収入は10.570元（RMB) で2000年の1.7倍となっており、年平均11.３％ずつ成長しております。



**<2001年～2005年、住民一人当りの平均収入>**

**󢐠「11 ․5計画」山東省経済開発の重点育成分野**

**① 経済発展の総合目標**

最近、山東省で制定された「山東省国民経済と社会発展第11次５ヶ年総合計画要項（草案）」によると2006年から2010年まで山東省GDPは10％ぐらい増加する計画であり、2010年まで29.000億元（RMB）に達し、一人当り、平均3800ドルに達する見込みであります。

**② 節約型社会の建設**

エネルギー問題は山東省の経済開発過程で直面した重要な問題でおります。山東省は節約型社会の建設のため、積極的にエネルギーの消費を節約し、2006年から2010年までエネルギー消費量は年平均4.5％に減少し、5年の間で全部、22％減少すると思います。

**③ 産業構造調整、経済成長方式の転換**

製造業の大省を建設しようと機械設備、科学工業、食品、原資材、電子情報、家電、繊維ファッションなど6代期間の産業群を制定し、2010年まで120個以上の中国固有のブランドを作り上げる計画でおり、山東省の全体製造業の生産額は1万億元（RMB）を突破する予定でおります。

サービス業が発展しています。金融保険、現代物流、展示コンベンション産業、仲介サービスを重点的に振興させ、旅行業、文化、不動産情報などの新興サービス業の発展と共にビジネス流通業、食品・飲料、交通運輸など、伝統的なサービスを共に発展させることができます。

インフラ施設の拡充を強化し、生体都市の建設を加速化させています。高速道路、鉄道、航空、海運など総合交通ネットワーク及びエネルギーと修理施設の建設を強化致します。生態系の保護及び緑の山東省の建設に毎年、5.3億㎡のはげ山の緑化を強化し、2010年まで山林の緑化率を28％まで達成し、都市一人当り、平均８㎡以上の緑地を確保する予定でおります。

**󥐌11.5経済開発計画 山東省 東北アジア地域の協力の見込み」**

**① 山東省の東北アジア地域での巨大な協力の潜在力**

東北アジア地域は山東省の最大の貿易パートナーとして投資希望国が集中的に位地した地域でおり、最大の労働力輸入の地域であると同時に山東省を訪ねる海外観光客の最大の集中地域でおります。



**<2004年山東省と東北アジア地域の輸出入の現況>**

2005年１～9月、山東省の輸出入の統計の数値からわかるように東北アジア地域は山東省の輸入の中、約45％以上を占めており、輸出の約３分の１を占めています。その中、日本に対する輸出入は前年の冬期に対し、それぞれ3.6％と21.8％が増加し、韓国はそれぞれ28.1％と20.2％が増加致しました。



**＜05年9月山東省輸出現況＞　＜05年9月山東省輸入現況＞**

韓国と日本はそれぞれ山東省の第一、第四の投資国であります。

東北アジア地域は山東省の投資総額の２分の１を占めています。



**<2005年 1～9月、山東省外国企業の投資現況>**

東北アジア地域は面積が広く、人口が多く、市場が巨大で、各国の発展水準がそれぞれ違い、産業は相互補完性が高いです。山東省は日本と韓国に国家経済の構造調整、産業移転、製造高利の延長など東北アジア地域の協力のいい機会を与えられました。また日本と韓国は経済貿易などの分野で巨大な潜在力があると思っております。

**② 山東省と東北アジア地域の協力で直面した問題**

東北アジア地域の自治団体間の交流の目的及び関心の分野はそれぞれ違います。山東省を含めたいつくかの中国の自治団体は自分の地域の経済建設に対した投資により多くの韓国企業の積極的な参加を望んでいます。

一方、多くの韓国の自治団体は自治団体の地域中小企業の中国市場の開拓及び企業の製品の営業を積極的に支援しています。それで中国の自治団体は特に韓国企業のハイテク科学技術業者の海外投資による産業共同化現象について非常に心配をしています。このような趨勢で交流の目的と興味の分野がそれぞれ違うため、双方の経済貿易の分野で実質的な協力の深化に制約を与えています。

　　　　　　　その他、自治団体間の交流でも長期的な計画と長期間、伴われる交流事業が足りないため、その限界点を乗り越えるためには今後、必ず、充分な事前コミュニケーションと意見の交換を行い、計画的に交流事業を進めるべきだと思っております。現在、地方と政府の間では長期間の協力事業が大変、足りない状況でおります。

**③ 今後5年間の山東省の東北アジア地域の協力の見込み**

山東省は東北アジア地域の各自治団体間の協力を大変、重視し、東北アジア自治団体連合が催した会議にも積極的に参加し、東北アジア地域の交流協力に重要な役割をこなしてきました。

今後、山東省は東北アジア地域の各国自治団体と共に経済貿易、文化、科学技術、観光、環境保護など、各分野での協力が一層、強化できるように期待しており、本日は時間の関係上、皆様に先進製造業と物流など現代サービス分野での協力を重点的に紹介致します。

**◦ 先進製造業の対外協力の発展**

現在、山東省は膠東半島に国際的な先進製造基地の建設を進めております。2010年まで半島の製造基地の生産額を年平均、15％以上、増加させる計画であります。今後、半島製造基地のGDPは1万億元（RMB）を達成し、製造業の増加額で占める比重は90％に達すると思います。

半島の製造基地で重点的に育成している産業は交通運輸設備の製造業、電子情報及び家電製品、繊維衣類、化学工業、医薬と食品製造業などであります。半島の製造基地の建設事業はより細分化され、靑島、煙台、威海でそれぞれ産業の計画を樹立致しました。

靑島は今後、自動車及び自動車の部品工業、船舶製造及び修理工業、石油化学工業産業、電子家電産業を重点的に育成しております。

煙台は機械製造産業、電子情報産業、食品及び黄金架空業が重点の育成産業でおり、このようなものを威海市の北部の沿海に約210ｋｍの経済産業のベルトを建設するつもりであります。

威海は全国最大の漁業装備、タイヤ、医薬用高分子、木工機械、カーペットなど、生産基地及び全国最大の漁業生産の架空基地などの特徴に基づき、関連産業の製造業基地と農産品の輸出、架空基地の建設を全力を尽くして計画しております。

山東省は東北アジア各地域との先進製造業の分野での協力を強化するよう望んでおり、各国の企業家方々の山東省の投資を心より歓迎致します。山東省は今後、外国投資者にいい投資環境を作っていただくため、さらにすばらしいサービスを提供致します。

**◦ 物流、港など、現代サービス業の分野の協力の強化**

山東省は現代製造業の最高として社会的な需要を満足させ、山東省と東北アジア地域及び世界各国の物流、港などの分野での協力を強化するため、2006年から2010年まで沿海港及び航空運輸業を積極的に育成する予定でおります。山東省は530億元（RMB）以上を投資する計画でおり、靑島を起点に日照市と煙台市を軸として東北アジア地域の航空運輸業の中心建設のため、最善を尽くしております。

靑島港は中国沿海地域の中心港であると同時にコンテナ港であります。この港はエネルギー、原材料運送の中枢地域として今後の発展にもコンテナ運送の軸として原油、鉄鉱石、石炭などの大量の貨物の仲介運送地に育成し、東北アジア地域の国際航空運送ハブを形成する計画でおります。

煙台港は中国沿海の重要な港と総合物流の重要な港に発展しております。煙台港は西側の港の開発を加速化させ、地下の鉱物資源、石炭、原油、コンテナ運輸を集中に育成し、数億トンの貨物をこなせる大規模の現代的な港の建設のために最善を尽くしております。これは東北アジア地域の国際航空運送ハブの土台を作ってくれると思います。

日照港は中国の北方地域のエネルギー、原資材の重要な仲介運送港であると同時にコンテナ仲介の港として今後の発展で石炭、鉱産物、原油など大規模の貨物の仲介運送を中心にコンテナなど、その他の運送を兼ねた港のサービス機能をさらに強化させます。現代的な総合港を建設し、東北アジア地域の国際航空運送ハブの土台を形成する計画でおります。

山東省の港の建設と物流の発展は今後、国内外の製造メーカにさらに多いビジネス機会を提供すると思っております。山東省は日本と韓国など、各国の自治団体と港、物流などの各分野での実質的な協力の強化を通じ、共に発展できるよう、望んでおります。

**2006慶尚南道展示会開催の計画紹介**

慶尙南道 國際通商課 主務官

Bae, Kyoung Yong

**2006国際自動化精密機器展(KOFAS 2006)**

◦ 展示期間：＇06． 5. 18(木) ～ 5. 21(日)、四日間

◦ 場所：昌原コンベンションセンター（CECO)

◦ 主催/主管：産業資源部、慶尚南道、昌原市/韓国機械産業振興会

◦ 展示規模：200人の業者、450ブース/海外バイヤー200人

◦ 展示分野：FA機器、金属架空機械、金型工具、制御計測機器など

　　※産業資源部の認証した有望な展示会として21年間、首都圏で隔年に

　開催しており、昌原コンベンションセンターの開館をきっかけに地方の巡回展示

**󢐠2006韓国自動車部品展示会(Auto Parts Korea 2006)**

◦ 展示期間：＇06. 6. 8(木) ～ 6. 10(土)、 三日間

◦ 場所：昌原コンベンションセンター（CECO)

◦ 主催/主管：慶尚南道、昌原市・韓国貿易協会/ ソウルメッセ

◦ 展示規模：100人の業者、250ブース/ 海外バイヤー200人

◦ 展示分野：自動車部品類、整備用品、カーオディオなど

**󢐠韓国国際機械博覧会(KIMEX 2006)**

◦ 展示期間： ＇06. 10. 18(水) ～ 10. 21(土)、四日間

◦ 場所：昌原コンベンションセンター（CECO)

　◦ 主催/主管：産業資源部、慶尚南道、昌原市/韓国機械産業振興会

◦ 展示規模：300人の業者、600ブース/海外バイヤー300人

◦ 展示分野：機械類全般、IT新技術製品、建設機械の重装備など

※ 慶尚南道の代表的な機械専門の博覧会として８年間、一年おきに開催

　 お問い合わせ先：

　　　１慶尚南道国際通商科産業イベント部（☎82-55-211-3341)

２.COEX昌原コンベンションセンター事業団(☎82-55-212-1011)

**ロシアと中国の間の特別経済区域創設の提議**

アム-ル州 副知事

Aleksandr Gordeev

尊敬するビジネス促進会の参加の皆様。

尊敬する東北アジア地域の自治団体の代表の皆様。

尊敬するご来賓の皆様。

ロシア連邦アムール州行政部の代表として皆様にお会いでき、光栄です。

また、ビジネス促進会という大規模の国際行事を円滑に進められた慶尚北道支社のイ・ウィグン様及び行事関係の皆様に心より感謝申し上げます。

今度の我々の協同作業が東北アジア地域の様々な分野での関係発展及び結束に大きい役割を果たしてくれると信じております。私はこの場で東北アジア協力の一環として一つ提案したいと思っております。

現代的な形の特別経済区域は1970年代から創設されてきました。東南アジア国家はこのような経済区域の創設をきっかけに速いスピードで経済成長を遂げ、その結果、「アジアの虎」と呼ばれています。中国も数多くの特別経済区域の創設を通じ、多くの発展を遂げました。

ロシアのアムール州と中国の黑龍江省の間では約1300kｍの国境線があり、この国境線には三ヶ所の国境事務所があります。この国境事務所の中でブラゴベ.シチェンスクと黒河地方の通過地域は非常に重要な役割を果たしています。

アムール州行政部はこの二つの都市の地理的な接近性が大きな潜在力を有していると思っております。この潜在力は国境を挟んでいる隣国としての善隣関係に問題が発生した場合、相互補完的な役割を果たすと同時に、両国のより効果的で速い経済発展の実現を可能にすると確信しております。

ロシアと中国政府はアムール川を通り、ブラゴベシチェンスクと黒河の両都市を通り、両国の国境線を通る橋の建設に関する合意を締結致しました。この地域でのロシアと中国の間の交通手段の連携は地理的な特性の下で両国の経済協力を促進させるいい例になると思います。

現在、アムール川を通る橋の建設の事前作業が進んでおり、これによる橋の建設の計画案が出来上がる予定でおります。

アムール州行政部はロシアと中国の緊密な関係を基盤として、両国の発展戦略に基づき、ブラゴベシチェンスクと黒河の両都市に国境を越える特別経済区域の創設を研究しております。

もはやロシアのアムール州と中国の黑龍江省は2005年6月17日にハルビンで両国の協同経済区域の創設に関する意向書に署名致しました。その上、ロシア政府と中国政府の間の特別合意文にこのような「国境を越える特別経済区域」の創設の規定および特別経済区域内での両国の経済主催の業務に関した規定を提案する内容が含まれています。特別経済区域でビジネス活動ができる企業はロシアと中国の企業だけではなく、東北アジア地域の自治団体(NEAR)所在の企業、全部、該当します。

特別経済区域の創設計画案によるとこの区域内で二ヶ所の特別閉鎖区域が設定される予定であります。その中、一つは総面積の10㎢ の「ロシア地域」としてロシア領土内で設置される予定であり、 また一つは「中国地域」として中国領土内で設置される予定であります。この両地域はアムールの川辺の両国間の警戒線のある水路 に沿って設置される予定であります。またこの両地域はアムール川を通る橋及び必需的な通信手段によってつながる予定であります。

アムール川を通る橋でつながった両国の地域は特別経済法規の適用される唯一の地域であります。計画案によるとロシア地域の30% を居留民区域の産業用地に割り当て、40%は通信施設と生産サービス施設に割り当て、残りの30%は農地、予備地、休息地などに割り当てる予定であります。

特別経済区域の機能に関する法的問題についてロシア地域はロシア法律を、中国地域は中国法律を適用することを原則としています。

したがって特別経済区域内での「ロシア地域」及び「中国地域」はそれぞれ自国の司法権に属し、意向書で述べられた規範ももちろん両国の法的効力の中に含まれます。

両国は特別経済区域内での全ての経済活動に関する免税を適用する計画であります。

特別経済区域内での企業の区域には貿易、輸送、建設、生産関連の企業、会社、団体が設立されることができます。これはそれぞれ該当地域の経済の主催と合意書を締結しなければなりません。

ロシア領土内の企業設立を目的とする土地は賃貸の目的によって決められます。特別経済区域内での建設行為および企業の初期生産の段階では免税を受けることができます。特別経済区域の効力は今後、20年間、持続します。

「ロシア地域」内で「無関税地域」を設置する計画であります。

この無関税地域とは一定の地域内で外国製品の持ち込み及び使用に関する関税を支払わないという内容であります。「ロシア地域」及び「中国地域」の円滑な運営のため、共同運営機構を組む計画であります。

アムール州行政部はこのような特別経済地域を創設した場合、東北アジア国家の外国人投資家の間で、特別経済区域内で現代的な装備を備えた企業設立に対した需要が高いことを期待しております。

ご興味のある多くの企業の積極的な参加をお待ちしています。

ありがとうございました。

**イルクツクと北東アジア地域の共同発展戦略の関係**

経済分析委員会の代表及びイルクツク行政部の州知事

ニコルスキA・Fー

イルクツク地域はロシアの中心部からアジア太平洋地域の国々を通る商業路の交差点であり、経済地理学的としてはロシアのアジア部分の中心を占めている。広大なイルクツク地域は767万9千個のアパートと2661万7千人の住民で構成されている。

イルクツク地域は豊かな資源で潜在的な部分でロシアで先頭位置を占めている。この領土は多くの山林を保有し(78％)、ここにロシアの木材資源の11％が集中されている。ここには巨大な金断層と珍しい金属と鉄鉱、カルシウム、食卓用の塩、色のある石、雲母、マグネサイト、滑石などがある。

イルクツク地域は全ての種類のエネルギー燃料資源を得ることができるロシアのいくつかできないところの一つであり、ロシアの7％の石炭を保有しており、石油と可燃性ガス、10％の水力発電資源などがある。水力発電資源の源はアンガリとバイカルであり、世界で最も大きく、効率的な滝水力発電所を完成させた。(イルクツク、ブリャトとウスチ・イリームスク)水力発電所)。領土の部分で、ロシアで最も大きいガス製品の出産地であるコヴィークチンスカ地域が位置し、ロジェンスカヤーは金鉱、サヤン地域は珍しい鉱物の産地である。

イルクツク地域には世界で最も巨大できれいな水を持っているバイカル湖がある。見込みによるとここは地域の優れた競争的な戦略地になれるそうである。

イルクツク地域ではロシア産業の相対的な部分などが実際的に活動されている。エネルギー燃料、木材業、水路技術、カラー冶金術の発展で多くの力を得た。専門的に重要な部分は機械製作である。国の34％のアルミ生産と50％以上のプラスチック、約30％のセルロイド、金の採集により、地域の第四位を占めている。経済的な部分でこれは高い生産資金の生産品に関する比喩の原因になり、また高いエネルギーを要求する原因となった。

領土が物流と商業路の元になった。(トリンシヴィリスクとバイカルーアムール 地域の鉄路である)。イルクツク地域は「止まった」と言えるが、旧ソ連時代、シベリア産業の基礎が集中されたところである。東と北東地域はほぼ水力発電設備品とアルミ、石油精製、化学、セルロイド紙産業の標準を占めている。それでイクルツク地域はすなわち、新たな時代の東シベリアと極東地域の革新的な経済発展の基礎を築き、地域的に忌避する部分に解決の糸口の役割を果たしている。

2004年の評価によるとGNPは70億6千ドルに達し、最近の経済成長のGNPは平均3～4％に至り、GNPの構造は約35％が産業、30％が物流と商業、4.5％が建築、そして5％が総体的な農業に構成される。

それにもかかわらず、イルクツク地域には危険を伴う農業地域が位置している。農業はイルクツクの重要な役割をし、住民は安全に食糧の生活保障を受けながら働いている。それでイルクツク地域は経済的な部分で投資家を待っている。この地域の発展は自分の地域だけではなく、シベリア極東ーヤクツ地域の不変の機能と全てのものを自分のものにする戦略的な機能を持っている。

しかし、GNPの最も多い部分を占めているのは産業である。現在、内部の住民の分業とかかわって、地域の生産品と基礎産業の生産品が輸出に提供される。イルクツク地域の輸出の標準によると2004年には産業生産品が68.8％を占めた。輸出にアルミ80.5％、セルロイド75％以上、防共・防毒ガス33％、木材88.9％、原木48％などで、この地域でほぼ三つのガソリン燃料と重油の40％を生産した。地域の対外経済パートナーとしては中国、日本、韓国、モンゴルとアジアの国々である。

イルクツク地域の労働力は高い高等教育と関わっている。経済的な仕事の分野で高等あるいは少し足りない高等教育が23.6％で、中等と仕事のための専門教育が45.6％である。これによると高等教育と共に分野の成長を記録している。公式的な記録によると住民の中、経済的な活動をする失業者は2.5％で経済危機の時期に仕事の減少で失業した人の数は200万ぐらいに至っている。地域はこれにかかわって発展を用い、外国人の参加者と莫大な労働が必要な部分を国民が生活必需品を生産し、生活物品と高技術の軽工業と食料品産業、建築工業そして住民の機械政策と工作機械を生産しなければならない。

イルクツク市の経済的な部分は徐々に1990年代の危機を乗り越え、2004年度には地域産業の生産物の水準が1990年の68.6％、そして1998年の47％に達した。

1990年代の最も革新的な危機の影響は完成品の発展的な部分を提示した。機械製作の大きさと金属加工の比率は30％低くなり、食料品産業は2倍ぐらい減少し、軽工業と建築材料事業部門は20倍ぐらい減少した。他の側面でこの部分は原料の輸出と半加工品などの低い水準を目的にするようにした。例えばカラー冶金術は1990年、粗いアルミ材の成長と関わっている。

それでこのようなイルクツク地域の基礎的な成長は発展部分と完成品に分けなければならない。

発展戦略の方向の範囲はロシア大統領の計画とシベリア地域の発展戦略によって形成される。(シベリアの戦略：パートナーの範囲と仕事、いわゆる特別な安定と成長の不変性である）ロシア科学アカデミーは共同の主題で集まったシベリア連邦の近隣地域に属し、ビジネスを提示し、大統領を代弁する機関である。

シベリアの発展の基礎戦略は必要な原料の保障とヨーロッパ中心国家の半加工品などで地域の満足する革新的な性格の経済で住民の住民の高い水準の生活、また生活を楽にする方法である。これによって必ず、シベリア住民の根本的な成長が必要し、それと同時に生活の質と実際的なサラリーの水準も発展するべきである。

シベリアのやらねばならないことはこのようである。

ー2013年～2015年までシベリア連邦と周りのGNPの最小2倍以上の成長

　ーGNPの中、高技術分野の拡大と輸入品の規制

　ー2010年まで実際的な住民のサラリーの最小1.5倍以上の増加

これに関して重要な問題はこのようなことを達成することを認め、シベリア経済の特権を持った目標点に進めるべきであり、加工原料の輸出と地域からの資本を拡張造成をするべきである。それでイルクツク地域とシベリア地域の共同の目標を持って外国投資家を誘致し、原料の搬出と半加工品を目的にしてはならない。しかし、完成品は高い価値を持っている。これの範囲は国民の生活必需品、軽工業、食料品業、木材品、機械製作産業、建築材料産業と建築、黒の冶金術と農業である。

これらは中間くらいの権威と関わり、巨大なビジネスとも関わり、特別な注意と金融機関の得るようになる。他の側面として地域的な範囲、つまり1890年代末から1990年代初までの地域経済水準に再建しようとする目標を立てた。これによって200万あるいはそれ以上の職場を作ることができる。例えば地域の実際的な水準と失業者の数が一致するようになる。

外国投資家にイルクツクの木材産業はいい潜在力を持っていることで有名で、投資家は古い加工術と家具生産品、そして完成品の生産を必要にしている。

外国投資家の生産品の範囲は高技術と生活必需品と地域的な原料から国民の生活必需品と衣服、靴、食料品などより少なくないと思われる。

なるべく内部の要請はここで生活の保障と質の良くない製品と高い生活必需品を代わりにもらうことは総合何十億ドルで評価される。

外国投資家のため、イルクツク地域の建築材料産業は巨大な可能性を持っている。生産品の大きさは1990年の水準から15％より高くないように決められる。ロシア大統領は外国投資家の建築工業と地域を原料から多くの建築生産品が住民の建築に使われるよう、望んでいる。現在、建築材料は他の地域から多くの量を供給されており、建物の値段を上げている。最初、建築工業地域に到着した外国投資家は多くの特権を与えられた。

シベリアとイルクツク地域の創造した業務は自立経済と革新的な経済で、

シベリアの整った発展と機械製造部門と下部地域には新しい段階の投資家を必要にする条件がつく。機械製作と下部地域は地域の白黒冶金術の基盤の創造なしには不可能であり、それのみならず、現在、極東地域と東シベリア地域には完全なサイクルの白黒冶金術は存在している。白黒冶金術の高品質の創造はチネイスキの巨大な鉱石地域と第2シベリア鉄道(バイカルーアムール鉄道)とイルクツク地域の可燃性ガスと水力電気を元にし、可能になった。

たとえ白黒冶金術の発展は計画的に不利かも知れないが、まだ具体的な図案を完成してないし、他の会社から発生するかもしれない。しかし、計画でわかるように我々は中国とロシアの地域の意見とロシアの鉄道交通と油送管建設を保障する機械製作のための高品質の白黒冶金術の創造はイルクツクと中国の全面的な協力で実現できる。